令和８年度
第２回 和歌山県立たちばな支援学校　学校運営協議会

令和８年１０月２６日(月)　　午前１０時～１１時３０分

出席者：委員９名　傍聴人６名

議　　題

１　小学部・中学部の取組発表及び質疑応答

２　高等部生徒会役員との意見交換

３　協議「子どもたちの願いや意見を生かした学校づくりについて」

協議した内容

１　小学部・中学部の取組及び質疑応答

（１） 小学部

小学部６年生の児童が、修学旅行での学習や体験について発表した。鉄道博物館ではSLや様々な車両を見学し、実際にSLに乗車した体験や、ニフレルでペンギンなどの生き物を間近で見学できたこと、月化粧工場の見学、宿泊先での夕食など、思い出に残ったことを発表した。

委員からの質問に対しては、学校生活について「友達と遊ぶことが楽しい」と話したほか、修学旅行での鉄道博物館について「実際に電車を運転してみたい」と話す児童もいた。また、好きな給食のメニューについて問われるとからあげやカレーライスなどを伝えることができた。

（２） 中学部

中学部３年生の生徒が、職場体験学習「トライやる」での取組について発表した。生徒たちは、スーパーマーケットや福祉施設、保育園などで体験した仕事内容や学んだことを紹介し、人の話をよく聞くことや集中して作業に取り組むことの大切さについて発表した。

委員からの質問に対しては、体験先を自分で選んだことや、「学校での勉強よりも実習先の方が大変だった」など仕事の大変さややりがいについて発表できた。また、毎日働いている家族について、「すごいと思う」「感謝している」などの意見が聞かれ、働くことへの理解と家族への感謝の気持ちを深める機会となったことがうかがえた。

２　高等部生徒会役員との意見交換

高等部では、生徒会執行部及び各専門部の代表生徒が、生徒会活動や学校生活に関する要望について発表し、委員との意見交換を行った。生徒からは、あいさつ運動や校内美化活動、図書室の利用促進などの取組が紹介されるとともに、更衣室やトイレへのエアコン設置、図書室の本の充実、清掃用具の整備などの要望が出された。

意見交換では、更衣室へのエアコン設置について、生徒から体育や作業学習後の暑さや利用者の多さなど、要望の理由が説明された。また、各学級から集めた意見を整理し、生徒会として要望をまとめるまでの過程についても紹介された。

委員からは、要望を伝える際には必要性や具体的な理由を示すこと、自分たちで工夫して実現できることと学校へ要望することを整理して考えることが大切であるとの助言があった。

さらに、生徒たちが学校生活の良いところとして、授業や給食、図書室、先生との関わりなどを多く挙げていたことに対し、委員からは学校への愛着や主体的な姿勢が感じられるとの感想が述べられた。生徒たちが学校をより良くするために積極的に意見を出し合い、自ら考えて行動しようとする様子がうかがえる有意義な意見交換となった。

3　協議「子どもたちの願いや意見を生かした学校づくりについて」

協議では、各学部の発表を受け、子どもたちの成長や学校への思いについて意見交換を行った。委員からは、小学部から高等部までの発表を通して、子どもたちが自分の考えをしっかりと伝えられるようになっていることや、学校生活をより良くしたいという思いが感じられたとの意見が出された。

高等部生徒会から出された更衣室やプールに関する要望については、安全面や施設管理、費用面などの課題について学校から説明があった。清掃用具に関する要望については、将来の就労も見据え、掃除機やほうき等の適切な使い方を学ぶことの重要性や、自分たちの生活する場を自分たちできれいにしようとする意識を育てることの大切さについて話し合った。

委員からは、生徒たちが主体的に意見を集約し、学校生活について考えていることを評価する声が多く聞かれた。また、要望を実現するために必要なことを考えたり、自分たちで工夫できることに取り組んだりする過程も大切であるとの意見が出され、子どもたちの主体性を生かした学校づくりの重要性について共有できた。





